

病院だより No. 1

「整形外科診療のご案内」

主な学歴

1991年3月 大阪大学医学部卒業  
 1999年3月 大阪大学医学部大学院卒業(医学博士号取得)  
 2000年7月 テキサス大学サンアントニオ校留学(博士研究員)

主な職歴

1991年- 大阪大学および関連病院にて研修  
 2000年- 大阪大学医学部附属病院助手(留学期間含む)  
 2003年- 大阪府立成人病センター整形外科医長  
 2007年- 大阪大学医学部整形外科 助教  
 2009年10月- 同 学部嘱託講師  
 2012年7月- 大阪府立成人病センター整形外科副部長兼リハ科部長  
 2016年- 現職

専門医資格など

整形外科専門医、運動器リハ医、がん治療認定医、  
 障害者スポーツ医、パラリンピック自転車競技のチームドクター

本年より広報誌に、「病院だより」と題して健康に関する話題を提供することになりました。第一回は、昨年1月1日付けで着任しました私、橋本伸之が整形外科診療についてご案内いたします。

私は平成3年に大阪大学を卒業後、整形外科医局に入局しその後25年間、大学病院及びその関連施設で勤務してきました。主な経歴を挙げてありますが、付け加えるところ

ば、若い頃は山登りが好きで冬山経験があったことや、大学院勤務時代に南極越冬隊の応募を企んでいたことが、天塩の土地を選んだことと無関係ではなかったかなと思っています。

仕事の面では、「引き際は自分で決め後進に道を譲りたい」と思っていたこと、それに専門領域の学会で基調講演を担当し、大切な論文を発表したあとと時期が重なり、そろそろ地域に密着した仕事に挑戦しようと決意しました。

大阪大学の整形外科は全国の大学出身者が集まり、所属する医師数700人以上、関連病院の数50以上と国内最大規模の医局です。多様な整形外科疾患を診てきた経験を活かすとすれば、整形外科診療が行き届かない地域でこそ活きてくるでしょうし、そう考える医師がほとんどいないのが医局の良くない点でもありました。

このような背景ですので、いつもは話しやすい地元の整形外科医でありたいと思っっている反面、内心母校の名に恥じない診療をしなければならぬといつも緊張感を持ってやっております。

さて、診療のご案内です。整形外科は打撲や骨折、スポーツ障害といった外傷全般と、腰痛・膝痛などの慢性的な痛み、脊髄や関節の疾患、骨粗しょう症、関節リウマチなどを主に扱います。体を不自由なく動かせることを広く担当する科ですので、これは整形外科かな?と迷う場合も遠慮なくご相談下さい。痛みではないけど、何となく重苦しい、重だるいといったご相談も多くお受けしています。

当院には昨年12月に、道の補助を受けて超音波検査装置が導入されています。多くの場面でMRI検査に代替するものです。ここ天塩でも大阪

と概ね変わらない整形外科診療が可能となっています。

一方今回からスタートした「病院だより」では、町立病院から様々なテーマをご紹介していきます。私はとくに整形外科的立場から寝たきりに陥らず自由に動ける体を維持するための重要ポイントを取り上げていきます。

年は取りたくないものですね。でも年齢を感じさせないお元気な方がおられるのもまた事実です。私自身も含め年を取ってしまうのは致し方ないとしても、寝たきりの方が多くなるのはよろしくありません。

天塩町には、お元気な方が多いと少しでも思ってもらえるよう尽力してまいりますので、「遠くの大病院より天塩の整形外科」をぜひ活用して下さい。

